

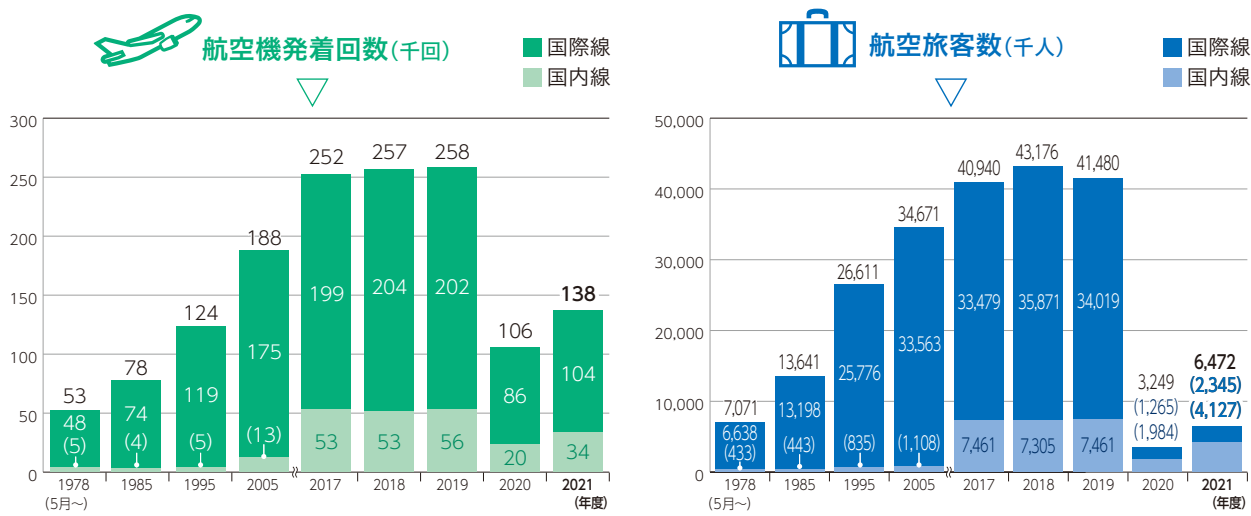
成田国際空港の運用状況

2021年度の運用状況は、航空機発着回数が約13.8万回、航空旅客数が約647万人、国際航空貨物量は約261万トンとなりました。新型コロナウイルスの影響により、感染拡大以前に比べると発着回数、旅客数は減少しているものの、前年度比では回復傾向にあります。

航空機発着回数・航空機旅客数

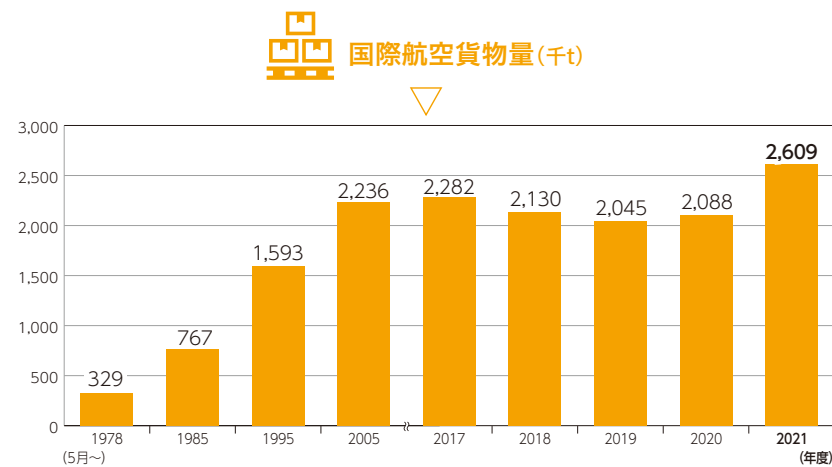
国内線 緊急事態宣言等の影響による増減はありつつも、概ね回復傾向にあり、航空機発着回数は前年度比129%、航空旅客数は前年度比199%と、新型コロナウイルス感染拡大前に近い数字まで回復しました。

国際線 東京2020オリンピック・パラリンピック関係者の出入国や規制緩和の動き等により回復傾向にあり、航空機発着回数は前年度比121%、航空旅客数は前年度比185%となりました。



国際航空貨物量

国際海上輸送の混乱による「船落ち」貨物の航空輸送への流入や、貨物便運航の成田への集中といった要因により、前年度比125%となり、年度として過去最高を更新しました。月別で見ても、2021年4月から2022年2月までは、単月として過去最高の貨物取扱量を記録しました。



SDGsに貢献する空港を目指して

空港全体に関わる環境保全活動を分析し、「持続可能な開発目標(SDGs)」との関係性を整理するとともに、各取り組みに関連するアイコンを表示しています。成田国際空港は、多様なステークホルダーとともにSDGsの達成に貢献していくことを目指します。



※成田国際空港のステークホルダーとは、お客様、地域住民、自治体、空港関連事業者や従業員など、空港に関係するすべてを指します。

